【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成25年9月5日(2013.9.5)

【公開番号】特開2012-64439(P2012-64439A)
【公開日】平成24年3月29日(2012.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2012-013
【出願番号】特願2010-207713(P2010-207713)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　10/48　(2006.01)
Ｈ０２Ｊ　13/00　(2006.01)
Ｈ０２Ｊ　17/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　10/48　Ｚ
Ｈ０２Ｊ　13/00　３０１Ｂ
Ｈ０２Ｊ　13/00　３１１Ｓ
Ｈ０２Ｊ　17/00　Ｂ
Ｈ０１Ｍ　10/48　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成25年7月23日(2013.7.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
従って、本発明の第１の目的は、二次電池等を電力供給装置等に安全に組み込むことを可能にする電力供給装置を提供することにある。また、本発明の第２の目的は、発電装置の発電状態、電力供給ユニットの充放電状態に依存して、充電が必要とされる電力供給ユニットを容易に選択し得る電力供給装置を提供することにある。更には、本発明の第３の目的は、電力供給ユニットに接続された電力消費機器の電力消費状態、電力供給ユニットの充放電状態に依存して、どの電力供給ユニットを使用すべきかを容易に選択し得る電力供給装置を提供することにある。また、本発明の第４の目的は、電力供給ユニットの充放電状態に依存して、どの電力供給ユニットに電力を移動させ、平均化を図るべきかを容易に選択し得る電力供給装置を提供することにある。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６４】
そして、この発電装置１５が、発電装置１５と制御装置１１０との間の通信が遮断されたときの発電装置であるとき、この発電装置に暗号鍵nk_{j+k}を送出する。暗号鍵nk_{j+k}は発電装置１５に備えられた記憶手段に記憶される。これによって、発電装置１５の電力供給ユニット群１０への組込みが完了する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７２
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００７２】
そして、この電力消費機器１３Ａが、電力消費機器１３Ａと制御装置１１０との間の通信が遮断されたときの電力消費機器であるとき、この電力消費機器に暗号鍵nk_{j+k}を送出する。暗号鍵nk_{j+k}は電力消費機器１３Ａに備えられた記憶手段に記憶される。これによって、電力消費機器１３Ａの電力供給ユニット群１０への組込みが完了する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７７】
実施例５の電力供給装置１００Ｃは、実施例３の電力供給装置１００Ｃと同様に、
（ａ）複数の電力供給ユニット１１から成り、発電装置１５に接続された電力供給ユニット群１０、並びに、
（ｂ）表示装置１１１及び選択手段１１２を有し、電力供給ユニット群１０を制御する制御装置１１０、
を備えている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８３】
実施例６の電力供給装置１００Ｄは、実施例４の電力供給装置１００Ｄと同様に、
（ａ）複数の電力供給ユニット１１から成り、電力消費機器１３Ａが接続された電力供給ユニット群１０、並びに、
（ｂ）表示装置１１１及び選択手段１１２を有し、電力供給ユニット群１０を制御する制御装置１１０、
を備えている。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９４】
実施例７の電力供給装置と実施例５の電力供給装置とを組み合わせることができるし、実施例７の電力供給装置と実施例６の電力供給装置とを組み合わせることができるし、実施例７の電力供給装置と実施例５と実施例６の電力供給装置とを組み合わせることができる。更には、実施例７の電力供給装置、あるいは、これらの組み合わされた電力供給装置と、実施例１～実施例４にて説明した電力供給装置とを、適宜、組み合わせることもできる。尚、実施例１の電力供給装置と実施例２の電力供給装置との組合せを除くと、実施例７の電力供給装置と実施例１～実施例６の電力供給装置のいずれか１種類の電力供給装置との組合せとして６通り、実施例７の電力供給装置と実施例１～実施例６の電力供給装置のいずれか２種類の電力供給装置との組合せとして１４通り、実施例７の電力供給装置と実施例１～実施例６の電力供給装置のいずれか３種類の電力供給装置との組合せとして１６通り、実施例７の電力供給装置と実施例１～実施例６の電力供給装置のいずれか４種類の電力供給装置との組合せとして９通り、実施例７の電力供給装置と実施例１～実施例６の電力供給装置のいずれか５種類の電力供給装置との組合せとして２通りを挙げることができる。